

# 〔益子町教育委員会活動状況評価報告書〕

(注) 評価様式 (評定はA～Dで行い、Dは改善方策を示す。)

## 〔 教育行政全般 〕

項目	評価指標	自己評価		外部評価	
		評価	達成状況と改善策	評価	成果(○)と課題(▲)
1 教育行政基本方針の策定	(1) 新教育基本法を踏まえ教育行政基本方針が策定されている。	A	毎年2月、定例教育委員会で「益子町教育行政基本方針」を策定している。	A	○方針が予定どおり策定されており、問題ない。  ▲成果指標については年度末に評価をする必要がある。
	(2) 教育行政基本方針を議会に公表している。	A	毎年3月の教育厚生常任委員会において説明している。		
	(3) 毎年度教育基本方針の内容を見直し、その成果を評価している。	B	今年度から成果指標を設定したので、今後評価を行う予定としている。		
2 定例教育委員会	(1) 定例教育委員会開催の告知をしている。	A	町内3カ所の告示板で告示を行うほか、広報にて告知している。	A	【意見】 委員にはある程度の任期を勤めてもらいたい。
	(2) 会議では適切な意見交換が行われている。	A	委員長の進行により各委員から積極的に意見が出されている。		
	(3) 定例教育委員会には全員の教育委員が出席している。	A	定例教育委員会時に日程を調整し、全員出席している。		
	(4) 会議録が整理されている。	A	会議録を整備している。		

項目	評価指標	自己評価		外部評価	
		評価	達成状況と改善策	評価	成果(○)と課題(▲)
3 教育委員会の評価と結果公表	(1) 教育委員会の活動について評価を実施している。	A	平成20年度から活動状況点検と評価を実施している。	A	
	(2) 評価結果を公表している。	A	毎年3月議会で報告するほか、益子町HP上において公表している。		
4 教育委員が出席する行事	(1) 委員が出席する行事は、委員間で協議し、共通理解をしている。	A	定例委員会において、予定表に基づき行事日程を協議・理解している。	A	
	(2) 教育委員が出席する行事は関係委員が出席している。	A	積極的に出席している。		
5 教育委員研修	(1) 教育委員研修は芳賀管内連携して実施している。	A	芳賀広域・教育事務所等を中心に連携・実施し参加している。	A	○研修に全員が参加することは難しいことなので、今後も研修内容のフォローを継続して欲しい。
	(2) 研修に教育委員が積極的に参加している。	B	研修内容等を事前に検討し参加している。		

〔 学校教育 〕

項目	評価指標	自己評価		外部評価	
		評価	達成状況と改善策	評価	成果(○)と課題(▲)
6 小学校外国語活動	(1) 年間計画・学習指導案に基づき、学級担任主導で毎時間ALTとのチームティーチングで推進している。	A	学習指導案に基づいて学級担任とALTが事前に確認を行い、学級担任が主導してチームティーチングを行うことができた。	A	○子どもにとって大きな力となるので、今後も継続して取り組んで欲しい。  【意見】 先進的な取組をしていただいております、先生方に感謝したい
	(2) 授業研究会、外国語活動研修会を行い、授業改善への取り組みを推進している。	A	中間発表会等、授業研究会の開催、指導主事による学校訪問を行い、推進状況の確認と教師の指導力向上のための研修を行った。		
7 魅力ある学校づくり	(1) 小中学校が連携し、不登校を未然に防ぐことをねらいとした取組を推進している。	A	認め合いの場の設定や感動体験の共有により、帰属意識の高い学級づくりについて「学業指導」として全小中学校が推進する体制となった。	A	
	(2) 小中連絡協議会等に出席し、取組状況を確認したり、国や県との連絡調整を行っている。	A	教職員の研修の推進のための情報提供、小中連携のための場の設定等、学校の要望に対し適切な支援を行うことが出来た。		
8 特別支援教育	(1) 対象園児・児童生徒の様子を観察し、保護者と教育相談を行っている。	B	対象となる子どもの様子を観察し、教育相談を行った。今後、保健センターとの情報共有を密にした。	B	

項目	評価指標	自己評価		外部評価	
		評価	達成状況と改善策	評価	成果(○)と課題(▲)
	(2) 能力に見合った適切な教育機関への就学指導を行っている。	B	対象となる子どもの保護者に対し、知能発達検査を実施し、客観指標をもとに就学相談を実施した。指標の採用により対象児童への指導方針も明確化することができた。		
	(3) 教育支援委員会を適宜開催している。	A	予定どおり実施した。		
9 備品管理	(1) 学校備品台帳のデータベース化を推進している。	D	データベース化に係る基礎研究を進めている段階であり、進捗はない。	B	▲学校間での備品のやりとりが容易になると思われるので、データベースの構築は行って欲しい。
	(2) 既存台帳の整理を随時行っている。	A	既存台帳内容の確認を学校毎に実施し、事務局保管台帳の加除を行っている。		
10 生活適応指導教室の運営	(1) 学校生活適応指導教室の運営が円滑に行われている。	A	室長を中心に通級児童生徒に対してきめ細やかな指導助言を行いつつ、充実した教室活動を行っている。	A	○学校復帰が達成できたのは非常にすばらしい。
	(2) 通級児童生徒が在籍校へ復帰できるよう適切な指導助言を行っている。	A	今年度、1名の生徒が完全に学校復帰できた。今後も、学校及び保護者との連携を深め、児童生徒が早期に在籍校に復帰できるよう促していく。		

項目	評価指標	自己評価		外部評価	
		評価	達成状況と改善策	評価	成果(○)と課題(▲)
1 1 小学校防災 機能強化事 業	(1) 学校現場へ工事内容の 説明を行っている。	A	工事の発注以前に 学校への説明を実施 した。	A	○計画どおり遂行で きているので問題 ない。
	(2) 事業に必要な財源の確 保がされている。	A	国の補助金を活用 している。		
	(3) 計画通りの工期に従い 実施されている。	A	計画どおり実施さ れている。		
	(4) 工事に伴う児童・生徒 の安全確保がなされてい る。	A	隔週開催されてい る工事打合せの中で、 児童・生徒の安全確 保をするよう指示を 行っている。		
1 2 学校施設管 理	(1) 学校の実態を十分に把 握し、適切に学校施設の 維持管理を行っている。	B	学校の実態を把握 した上で、緊急性の 高いものから順次修 繕を行っている。	B	○要望に応えられる よう継続して努力 して欲しい。
1 3 中学生海外 派遣	(1) 中学生海外派遣事業実 施委員会を開催し、派遣 先やカリキュラムの検討 を行っている。	A	実施委員会を開催 し、十分な検討を行 ったほか、学校交流 のプログラムを学校 間で調整するように 改善した。	A	▲海外の情勢が不安 定なこともあるの で、緊急時のバッ クアップ体制の構 築を図ってもらい たい。  【意見】 すばらしい体験 を提供出来る事業 なので、これから も継続して取り組 んで欲しい。
	(2) 派遣する中学生の事前 ・事後指導が円滑に行わ れている。	A	学校の協力を得て 事前指導の回数を増 やしたことで、十分 な指導ができた。		
	(3) 派遣中の情報収集、保 護者への情報提供が適切 に行われている。	A	情報の収集方法を 電話からメールにす ることで、写真など を添付した情報提供 を行うことができた。		

項目	評価指標	自己評価		外部評価	
		評価	達成状況と改善策	評価	成果(○)と課題(▲)
14 奨学資金貸与	(1) 経済的に修学が困難かつ、修学の意欲のある者に奨学資金貸与制度の周知を行っている。	A	町内中学校、郡内高等学校に制度の周知を行うと共に、広報を利用し制度の周知を行った。	B	○未納者数を増加させていないのは評価できる。  ▲行方不明者については、不納欠損を考えても良いのではないか。
	(2) 奨学資金の未納者に対する追跡調査を行い、奨学資金の適正な管理を行っている。	D	催告書の郵送や電話、戸別訪問を継続して行う。		
15 スクールバス運行	(1) スクールバスを円滑に運行している。	A	問題発生時に迅速に対応できるよう、連絡網を作成した。	A	
16 学校給食	(1) 委託業者との連携を密にし、安全・安心な給食の提供を行っている。	A	毎日委託業者と打合せを行うことにより、スムーズな運営がなされた。	A	○(3)の指標については、施設が対応していないのであれば設定を見直すべきである。現状の施設で出来るだけの対応をしていることを評価したい。  【意見】 給食の残量が非常に少ないと聞いており、今後もおいしい給食を提供できるよう努力して欲しい。
	(2) 地元食材を活用し、地産地消に取り組み、安全・安心な食材の調達を行っている。	A	J Aと打合せをし、地元食材の使用に努め、食材の放射性物質検査を定期的に行い、食材の安全性を確認すると共に、町ホームページや給食だよりで結果を公表している。		
	(3) アレルギーに配慮した給食の提供を行っている。	B	施設の都合により代替食は提供していないが、アレルギーを持つ児童生徒の増加に対応し、除去食の提供を行った。		
	(4) 給食費の未納対策を行っている。	A	学校と協力して、訪問徴収等により未納解消に努めた。		

〔 生涯学習 〕

項目	評価指標	自己評価		外部評価	
		評価	達成状況と改善策	評価	成果(○)と課題(▲)
17 生涯学習並びに社会教育の充実	(1) いきいき講座の利用促進自主教室の充実を図っている。	A	いきいき講座は町民編68講座、行政編82講座を開設。また自主教室は49教室開催し生涯学習の充実を図っている。	B	<p>▲ 学校支援ボランティアが集まらないとのことだが、学社連携については、学校側でも連携を拡大したい意思があり、一方で学校に協力したい住民も存在しているので、双方のニーズをつかんで募集をかけられるようにして欲しい。</p> <p>○ 地区ぐるみ体育祭の参加自治会が減少傾向にあるとのことだが、少子化の中ではやむを得ないことではないか。</p>
	(2) 学校支援ボランティアやコーディネーター交流会等を通し学社連携・融合事業の推進を図っている。	B	ボランティア、コーディネーター、学校が一同に会し情報交換を行った。		
	(3) 青少年教育並びに成人教育の推進を図っている。	B	健全育成大会、男女共同参画の推進、女性団体の支援を行っている。また、青少年から高齢者まで各年代ごとに講座開設を行った。		
	(4) 地区ぐるみ活動等、地域コミュニティ活動の充実を図っている。	B	地区ぐるみ体育祭を開催、生涯学習推進協議会と連携し地域コミュニティの醸成を図った。		
	(5) 町民と協働し花で包まれたまちづくりを行っている。	A	大規模花畑や花いっぱいコンクール等を開催している。花いっぱいコンクールは参加団体も増えてきている。		

項目	評価指標	自己評価		外部評価	
		評価	達成状況と改善策	評価	成果(○)と課題(▲)
	(6) 図書の充実と図書ボランティアグループ支援を行い図書活動の推進を図っている。	C	図書の充実を図るとともに、ボランティアの方と協力連携し利用しやすい図書室づくりをしている。		
18 文化関係事業充実	(1) 文化遺産を活用した地域活性化事業を実施する。	A	文化財ガイド養成講座の実施や、地域の文化財を活用した「ましこ里山芸術祭」等を実施し、文化財の普及啓発につながる事業を実施している。	B	▲ 高齢者などにはガイドが有効かと思うが、文化財に興味を持つ若い観光客には音声解説のアプリを作るとよいのではないか。  【意見】 ましこ里山芸術祭は非常によい取組だったと思うので、継続してもらいたい。
	(2) 芸術・文化の振興を図っている。	A	文化協会等文化団体の指導育成、少年少女合唱団の育成、文化祭、芸術祭の実施運営を行った。音楽祭を子供と大人の部に分け2回開催し、大人の部では、育成支援をしていた『益子で第九を歌おう会』がオーケストラの演奏で発表を行った。		
	(3) 文化財の保護に努めている。	C	文化財保存事業の推進、文化財指定手続きの継続、文化財保護意識の啓発に努めている。		
	(4) 町民会館の管理運営及び受付業務を図っている。	B	利用者の安全確保、修繕工事の円滑な進捗、施設、機材のメンテナンスの徹底、利用者への適切な説明と適切な対応を図っている。		



項目	評価指標	自己評価		外部評価	
		評価	達成状況と改善策	評価	成果(○)と課題(▲)
19 社会体育事業充実	(1) 総合型地域スポーツクラブの育成支援を図っている。	B	クラブと連携を図り、クラブのPRと事業の適正な執行に努めた。	A	▲ 少年スポーツ教室は指導者が非常にすばらしいので、一般の方へも周知をして競技に興味を持ってもらえるようにしてほしい。  ○ はが路ふれあいマラソンはよい取組だった。  ▲ 交通規制の周知を徹底して、苦情が出ないようにしてもらいたい。  ▲ 町外などから応援に来る人を案内できる体制が必要である。
	(2) 少年スポーツ教室を開催し、心身の向上を図っている。	A	受講者から満足度の高い評価を得ている。		
	(3) 体育施設の整備、適切な管理運営を図っている。	B	総合型クラブ事業の利用調整など、総合体育場・南運動公園・北公園等の体育施設の適正な管理運営を行った。		
	(4) スポーツ団体の育成・支援を図っている。	B	スポーツ少年団、体育協会等の団体へ活動支援を行った。		
	(5) はが路ふれあいマラソンを開催を通し、地域住民のスポーツ参加意欲の向上と芳賀郡市のPRを図っている。	A	参加者から満足度の高い評価を得ている。		

※評価方法（評定）

- A 目標を大きく上回り優れている。
- B 目標を上回り良好であるが改善の余地がある。
- C 目標上にあり満足であるが改善すべき点がある。
- D 目標を下回り改善を要する。

◎評価のまとめ

<b>(1) 教育行政全般</b> ( 評価最頻値 : A )	
<b>ア 特に良好であった内容</b> ①教育行政基本方針の策定について ②定例教育委員会の運営について	
<b>イ 特に改善を要する内容</b> ①教育行政基本方針の成果指標の 評価について	<b>改善策</b> ・年度末に成果を評価する。
<b>(2) 学校教育</b> ( 評価最頻値 : A )	
<b>ア 特に良好であった内容</b> ①小学校外国語活動について ②生活適応指導教室の運営について ③中学生海外派遣事業について	
<b>イ 特に改善を要する内容</b> ①海外派遣事業の緊急時のバック アップ体制について ②評価指標の設定について	<b>改善策</b> ・旅行取次業者等と連携し、連絡体制の構築を図る。 ・評価項目を見直し、活動実態に即した細やかな評価が出来るようにする。
<b>(3) 生涯学習</b> ( 評価最頻値 : B )	
<b>ア 特に良好であった内容</b> ①文化遺産を活用した地域活性化事業について ②少年スポーツ教室について	
<b>イ 特に改善を要する内容</b> ①図書室の運営について ②はが路ふれあいマラソンの交通 規制について	<b>改善策</b> ・定期的に蔵書点検・廃棄を実施する。 ・大会の事前周知及び迂回路対策を徹底する。